

誕生の喜びを

グッピーで味わおう！

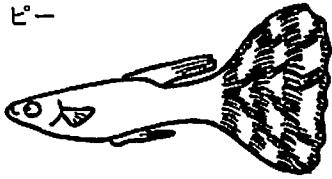
札幌市立桑園小学校 齊藤 振一郎

一年生の「生き物を育てる活動」で、「金魚」を学習材料として使っている場合が多いのではないのでしょうか。金魚は歴史も長く、丈夫で、安価で、手軽に飼えて、優れた観賞魚の1つだと思います。しかし、性成熟まで最低2年はかかるため、子育ての様子を見ることがなかなかできません。

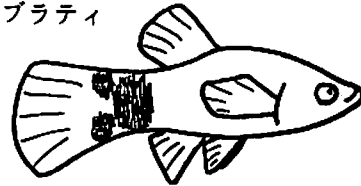
そこでおススメするのが、卵胎生メダカの仲間です。このメダカはその名の通り、卵をメスの体内で孵化させて生みます。しかも、性成熟まで半年もあれば良く、オスとメスのペアが何組かあれば、どんどん繁殖します。

主なものとして、以下のような種類があります。

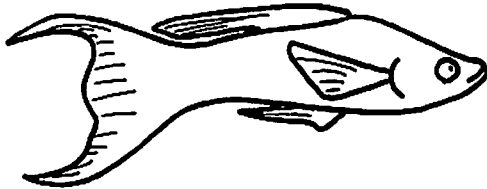
グッピー



ブラティ



モーリー



ソードテール



この内、特にオススメはブラティです。まず、金魚のような赤から、メタリックな青まで、体色の種類が豊富です。そして、尾ビレの根元についてミッキーマウスのような模様（無い種類もあります）は、低学年の児童に好まれます。しかも、グッピーのように色おちする事ありません。もちろん、繁殖力も旺盛です。

これら卵胎生メダカは「熱帯魚」ですので、基本的には、金魚の飼育セットにプラスして、サーモスタットとヒーターが必要です。しかし、繁殖の様子を観察することを考えれば、決して高い投資ではないと思います。



ナishoのウラ技：6月頃から飼い始めた場合、ヒーターなしでもうまく飼えることがあります。こうして生まれた子どもは、寒さに対する抵抗力が強く、無加温で問題なく飼うことができます。